

## 校長メッセージ

下妻小学校は明治6年に光明寺を校舎として開校し、下妻尋常高等小学校、下妻国民学校等と名称を変えながら、現在の下妻市立下妻小学校となり、今年で150周年を迎えました。「窓は明るく」から始まる校歌を、現在でも歌える方は多いのではないのでしょうか。本校は地域の方に愛され、支えられてきた学校です。

現在、530名が在籍し、「元気いっぱい・友達いっぱい・夢いっぱい」をスローガンとして、未来に羽ばたき、社会を支える人材の育成をめざし教育活動を展開しております。

地域の皆様、今後も下妻小学校の応援をよろしくお願いいたします。



下妻小学校  
三谷 定幸 校長

## 下妻小学校

11月18日に行われた記念式典では、卒業生からの思い出の講話、地域の下妻AILE吹奏楽団のアンサンブル演奏、大町はやし保存会のお囃子、下妻第一高等学校応援団による演舞、児童たちが作成した壁画の披露、バルーンリリースなどが行われ、思い出に残る式典となりました。



150周年を迎えるにあたり、塗魂ペインターズの皆さんに遊具を塗装していただきました！

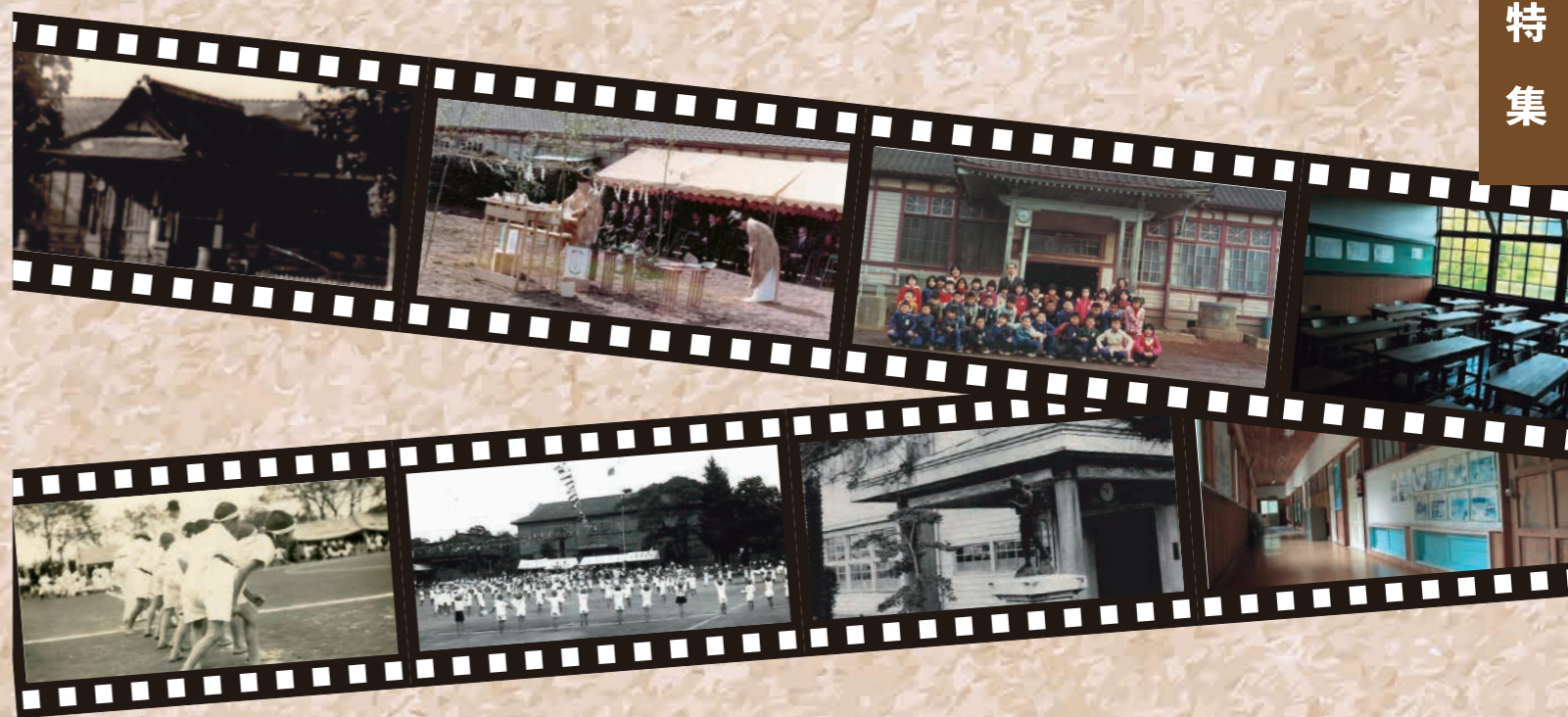
## 沿革

明治6年	光明寺を校舎として下妻小学校を開く
44年	現在地に校舎を新築し、移転する
昭和29年	市制施行に伴い「下妻市立下妻小学校」と改称する
35年	門井八郎作詞、望月弘作曲の校歌ができる
53年	現校舎ができる
令和元年	普通教室のエアコン整備が完了する
3年	1人1台タブレット端末の整備が完了する
5年	プールの大規模改修が完了する
	下妻小学校創立150周年

## 学校プロフィール



所在地 ▶ 下妻市下妻乙 386  
 児童数 ▶ 530人  
 創立 ▶ 明治6年7月5日  
 学校教育目標 ▶ 進んで学ぶ子  
 美しい心の子 たくましい子



# 未来へつなぐ 小学校のあゆみ

下妻小学校150周年

上妻小学校150周年

騰波ノ江小学校100周年

今年で150周年、100周年を迎えた歴史ある小学校。地域の誇りとして、多くの児童たちに愛され続けてきました。時代とともに、風景や雰囲気は変わってしまったかもしれませんが、たくさんの人の思い出が詰まっています。

今回の特集では、世代を超えて受け継がれる小学校の歴史を紹介します。

